

平成 25 年度 活動方針

平成 24 年の直江津港における貨物量は、3,551,199 t で前年比約 52% 増と大幅に伸びている。これは、上越火力発電所稼働に伴い、LNG 燃料の取扱が徐々に増えていることが主な要因であり、同発電所の本格稼働に加え、建設中の国際石油開発帝石(株) LNG 受入基地の運転開始により、さらに貨物量の増加が見込まれる。

また、外国コンテナ貨物も 29,259 TEU と産業機械等の輸出が伸びたことなどから、3 年連続で過去最高を記録しているところである。

このように現状においては、港を利用する企業の好調な業績に支えられ、貨物量が増大しているものの、将来に向けて持続的に直江津港の振興を図っていくためには、増大する貨物量に合わせた施設整備が望まれるほか、災害時などにおける太平洋側港湾に対する代替性やエネルギー供給拠点であることなど、直江津港の優位性・リダンダンシー機能について後背地域に強くアピールしながら利用促進活動に取り組んでまいらねばならない。

また港は、人や物が集まることによりにぎわいや交流が生まれる場でもある。そうした港が持つ機能を含め、地域を代表する社会資本である直江津港の役割について、地域はもとより、港を訪れる皆さんに理解していただくことも必要なことと考える。

以上を踏まえ、当協会では次の事項を重点目標に掲げ、関係者が一致協力して活動を展開する。

重点目標

- 1：直江津港港湾計画の促進
 - エネルギー港湾としての整備促進など
 - 港湾施設の維持、拡充
- 2：直江津港の利用促進
 - 地域産業との結びつきを強めたポートセールスの実施
 - 長野県や近隣地域との連携による利用促進
- 3：国際定期コンテナ航路の拡充
- 4：国の港湾施策に関する情報収集及び要望活動
- 5：小木直江津航路の活性化及び安定運航
- 6：交流拠点としての直江津港のにぎわい創出